

園 医		内 科	H 8. 4. 1
園 医		眼 科	S 54. 10. 1
園 医		耳 鼻 科	H 8. 4. 1
園 医		歯 科	H 27. 4. 1
薬 剤 師		薬 剤 師	H 6. 6. 1

令和 7 年度

幼稚園要覧



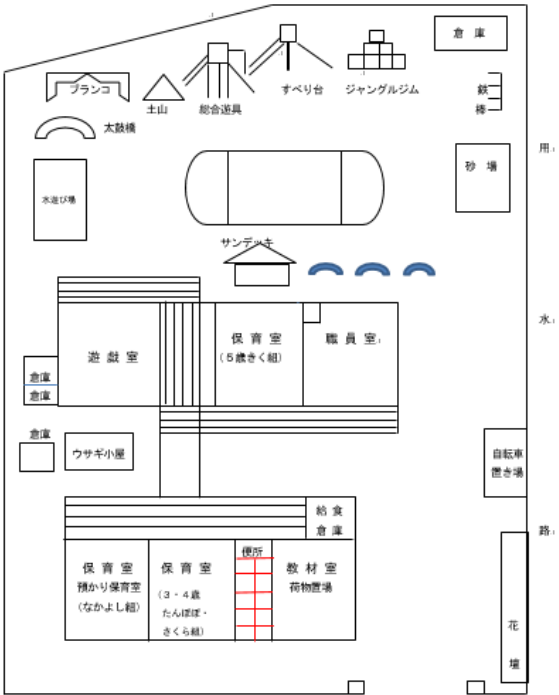
井原市立大江幼稚園

〒 7 1 5 - 0 0 2 3

岡山県井原市大江町 2 9 5 3 番地

電話・FAX (0 8 6 6) 6 7 - 0 1 3 0

9 施設の配置図



大江幼稚園園歌

作詞・作曲 大塚幸平

1 まるいお日さま空の上
きょうも明るくにっこりこ
みんな元気なお友だち
お庭いっぱい走ります
大好き大江幼稚園



2 山の小鳥が飛んできて
赤いおやねでちいちくち
みんな仲よしお友だち
お手てつないで遊びます
大好き大江幼稚園



3 風がそよそよまどの外
楽しい歌声らんらんらん
みんな優しいお友だち
いつも笑顔で話します
大好き大江幼稚園

1 幼稚園の概要

(1)	名 称	井原市立大江幼稚園
(2)	所 在 地	井原市大江町 2 9 5 3 番地
(3)	創 立	昭和 5 0 年 4 月
(4)	園地・園舎	園地面積 2 2 8 6 m ² 園庭面積 1 3 4 1 m ² 園舎面積 9 4 5 m ²

2 学区の概要 (令和 7 年 4 月末現在)

○ 面 積	5. 7 km ²	○ 世帯数	7 5 9 戸
○ 人 口	男 8 1 3 人 ・ 女 8 9 7 人	計	1, 7 1 0 人

3 幼稚園の沿革

昭和 5 0 年	4 月	保育園舎あとに開設井原市立大江幼稚園と改称
昭和 5 3 年	1 2 月	園舎新築移転
昭和 5 4 年	7 月	水遊び場建設
昭和 5 6 年	7 月	園舎増築
平成 4 年	8 月	廊下のひさしの取り換え及び柱の塗装
平成 9 年	3 月	遊戯室の壁面張り替え・遊戯室南側の廊下張り替え
平成 9 年	9 月	トイレ水洗化
平成 1 8 年	3 月	廊下貼りかえ
平成 2 1 年	8 月	廊下のひさし延長及び柱・梁の塗装
平成 2 2 年	8 月	職員室・教材室の移動
平成 2 2 年	8 月	耐火キャビネット・給食関係備品設置・後期から給食実施
平成 2 4 年	4 月	園庭芝張り
平成 2 6 年	3 月	3 歳児教育・預かり保育関係備品設置
平成 2 6 年	4 月	3 歳児教育・預かり保育 開始 4 歳児 5 歳児複式学級
平成 2 7 年	1 1 月	総合遊具取替工事完了
平成 2 8 年	4 月	4 歳児 5 歳児複式学級解消
平成 3 0 年	6 月	保育室エアコンの設置
平成 3 1 年	4 月	3 歳児 4 歳児複式学級
令和 3 年	4 月	4 歳児 5 歳児複式学級
令和 4 年	4 月	3 歳児 4 歳児複式学級
令和 5 年	4 月	4 歳児 5 歳児複式学級
令和 7 年	4 月	3 歳児 4 歳児複式学級

4 幼稚園経営の重点

- (1) 教育目標
- いろいろな経験を通して心豊かでたくましい子どもを育成する。
 - ・ 元気な子ども
 - ・ やさしい子ども
 - ・ がんばる子ども
- (2) 教育方針
- ① 幼児一人一人の実態を把握し、発達段階を見通しながら個々に応じた指導に努めるとともに、心豊かに生きる力を身に付けていく幼児を育てる。
 - ② 幼児の興味・関心を引き出し、友達と楽しく充実した園生活が送れるよう努める。
 - ③ 家庭・地域・小学校ならびに他園との連携を密にすることでよりよい幼稚園教育を推進する。
- (3) 教育経営の重点
- ① 社会性・道徳性の育成
 - ・ 幼児一人一人の発達の特性をふまえた環境や援助を創意工夫して、自主自立の精神の芽生えを培う。
 - ・ 幼児が充実した園生活を送るために、異年齢・他園・小学校・地域の方と交流ができる場を設け、ふるさとを愛する心や豊かな人間性、よりよい人間関係の形成力を育てる。

- ② 健康安全教育の推進
 - ・ 日常生活の中で、基本的な生活習慣の確立や健康で安全な生活を送るために必要な態度の育成に努める。
 - ・ 運動的な遊びや園内外での保育を通して、体を動かす楽しさを味わうと共に、安全に行動する態度を育てる。
 - ・ 交通指導を継続的に行い、交通安全の徹底を図る。
- ③ 情操教育の推進
 - ・ 身近な自然環境や人との触れ合いの中で、友達や教師と感動体験を共有し、豊かな心情を養う。
 - ・ 動植物の飼育栽培を通して、自然の不思議さや生命の大切さを知り、豊かな感性を養う。
 - ・ 絵本や物語、音楽に親しむことで、感情や感動を素直に表現する幼児を育てる。
- ④ 指導体制の確立
 - ・ 幼児が落ち着いて生活を送れるようにするために、自尊感情を高めながら幼児一人一人が自信を深めていけるような指導や援助に努める。
 - ・ 幼児一人一人の行動と内面、および成育歴を理解し、心身の発達を促すような指導と環境整備に努める。
 - ・ 職員間の連携及び家庭・地域との連携を図りながら、チームとして幼児の主体的な活動を促していくよう努める。
 - ・ 教師は幼児との信頼関係を築きながら、常に研究課題をもって研修を深め、指導力の向上を図る。

5 研究主題

『 「やってみよう」と心と体を動かして、主体的に遊ぶ子どもを育てる 』
ー幼児の心の安定を大切にした環境構成と教師の援助ー

6 研究の方針

- (1) 研究主題について共通理解を図りながら、幼児一人一人が自己を発揮して主体的に生き生きと元気に遊んだり活動したりできるように、日々の保育を反省、評価して研究を進める。
- (2) 友達と一緒に考えたり話し合ったりしながら、協調性を高めていけるように指導の在り方を工夫する。
- (3) 幼児自身が感じたことを自分なりの方法（動作・言葉など）で表現したり、最後まで頑張れるようにしたりして幼児の興味・関心を探りながら環境構成や援助のあり方を工夫する。
- (4) 幼児の思いに寄り添うことや共感することを大切にし、心の安定を図りながら自尊感情を高める指導のあり方を工夫する。
- (5) 教師間の連携を密にし、家庭・地域・小学校・他園との関わりを深めながら、心も体も元気な幼児を育てる。

7 学級数及び園児数 (令和 7 年 5 月現在)

年 齢	組	男	女	計
3 歳児	たんぽぽ	2	0	2
4 歳児	さくら	2	1	3
5 歳児	き く	2	3	5
計		6	4	1 0

8 職員一覧

職 名	氏 名	職 務 内 容	着任年月
園 長		幼稚園経営	R 4. 4. 1
主任教諭		3・4 歳児	R 7. 4. 1
教 諭		5 歳児	R 5. 4. 1
講 師		預かり保育	R 6. 4. 1
非常勤講師		保育補助	R 5. 4. 1